

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プレミスト東林間さくら通り	階数	地上11F
建設地	相模原市南区上鶴間7丁目5845番123	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	3.0人 人
地域区分	6地域	年間使用時間	16,060 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年3月31日
敷地面積	6,727 m ²	作成者	(有)キューオーエルクリエイション
建築面積	2,381 m ²	確認日	2017年3月31日
延床面積	14,702 m ²	確認者	(株)花岡都市建築設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
断熱等性能等級4取得予定。 可能な限り緑化計画を推進した。 リサイクル材料の最大利用		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
断熱等性能等級4取得予定。 可能な限り緑化計画を推進した。 リサイクル材料の最大利用	バリアフリー新法の移動等円滑化基準をみたしている。 構造部材を痛めることなく修繕、更新できる	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
		分別回収の推進を図っている。 適切な駐輪場・駐車場の確保。(駐輪は付置義務の2倍以上) 雨水処理は敷地内浸透を採用し、雨水処理槽も設置。 排水処理軽減のためティスパーの採用。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される